


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成26年11月18日

山北町議会議長 池谷 荘次郎 殿

受付番号	第4号	質問議員	2番	原 憲 司 
件名	自然の恵みを活用した葉っぱによるまちづくりを			
要 旨				
<p>議会では、10月8日から10日までの3日間で、徳島県那賀町の森林バイオマスを活かすまちづくり及び上勝町の移住対策、学校統廃合による廃校活用、葉っぱビジネス並びに香川県高松市の丸亀商店街のまちづくりについて、視察研修を行い、山間地の地域特性を活かした活性化対策や都市商店街の活性化を行政と企業や団体等が手を取り合って一体となって積極的にまちづくりに取り組んでいる現状を学び、当町のまちづくりに活かせる事業が沢山あると実感しました。</p> <p>特に印象に残った上勝町は、人口が1,774人で、高齢化率が51.3%と四国で最も人口が少なく、高齢化率が高い町ではありますが、「葉っぱビジネス」が有名で、元気なおばあちゃんや町の魅力に惚れ込んで県内外からIターン・Uターンで移住してくる若者が多く、町のみんながいきいきと暮らしていると説明がありました。</p> <p>葉っぱビジネスは、彩(いろどり)事業として、民間が(株)いろどりを設立し、JAと連携した中で、全国展開を図っている。彩事業は、もみじ、柿、南天、椿の葉っぱや梅、桜、桃の花などを料理の引きたて品として商品化したもので、生産物が軽量で綺麗であるため、女性や高齢者でも取り扱うことができる商材であり、現在の販売額は、約2億6千万円程になっており、中には年収1,000万円以上稼ぐおばあちゃんもいるということでありました。</p>				

当町には、自然環境に恵まれたモミジ、柿、椿などの葉っぱや梅、桜などの花が多くありますので、自然を活用した商材をベースに葉っぱ産業を興し、特徴あるまちづくりに積極的に取り組み、町民がいきいきと元気に満ち溢れ、町全体が賑わいと活力のあるまちづくりを推進するための取り組みについて質問します。

1. 自然を活かした特徴ある葉っぱ産業をJAや民間事業者・団体等と連携し、民間主導型の山北らしい特徴ある葉っぱ産業を興し、生産や販売ルートの確立を図る中で、全国にPRを行い、活力あるまちづくりを推進してはどうか。
2. 町の高齢化率が9月1日現在32.78%を占める中で、高齢者や女性が健康で元気良く生きがいのある人生を送る環境づくりを推し進めるため、自然環境を活かした特徴ある葉っぱ産業を積極的に推進し、高齢者や女性が元気良く、いきいきと働く、活力あるまちづくりを推進してはどうか。
3. 中川温泉組合や町内料理店などと協議・連携して、料理に葉っぱや花を利用した山北ならではの特徴ある「おもてなし料理」を作り、観光客に山北の特産品として提供し、観光入込客の増加を図り、町の活性化に繋げてはどうか。
4. ミカン畑や茶畑の休耕地が増えているので、葉っぱ産業に係る事業者と積極的に調査・検討を行い、休耕地を利活用したもみじ、柿、南天、椿、梅、桜、桃の木などを植樹し、葉っぱや花を利用した特徴ある葉っぱ産業の推進を図り、町の活性化に繋げてはどうか。
5. 都夫良野などの町有地や川村小学校北西側の学校農園の跡地を活用して、もみじや南天、梅の木などを植栽し、景観整備と併せた特徴ある葉っぱ産業の推進に取り組んではどうか。
6. 新しい事業を推進するため、新たな方針や取り組みを定めた基本計画を策定し、計画書に基づいた自然の恵みを活用した特徴ある葉っぱ産業に積極的に取り組み、活力あるまちづくりを推進してはどうか。

以 上